

【令和3年度 和泉小学校 学校経営全体構想図】

令和3年4月1日
狛江市立和泉小学校
校長 鷲見 真太郎

令和3年度学校教育目標

- ◎かしこい子（進んで学び、よく考える子供）：学びを活かす力
- やさしい子（思いやりの心もち、自他を大切にする子供）：共感する力
- たくましい子（最後までやり抜く、健康でたくましい子供）：やり抜く力

法に基づく教育活動

- 日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法
- 学習指導要領 ○東京都教育目標 ○市の教育目標
- 管理運営に関する規則

市の教育目標

- 1 互いの生命と人格・人権を尊重し、社会に貢献する意識の醸成
- 2 確かな学力の定着と個々の能力や想像力を伸ばし郷土や国を愛する心をはぐくむ学校教育の充実
- 3 すべての世代にわたる市民のための学習環境と運動環境の整備

実現するための手立て

子供の発達の支援

- 個の実態把握と共通理解
- ユニバーサルデザインを意識した教室環境整備と授業内容の工夫
- 特別支援教育への理解と啓発の推進
- SC・SSWとの連携、個人面談の実施
- WEB QUの積極的活用（早稲田との連携）

地域とともにある学校

- 地域と連携した行事
- 地域連携防災訓練の実施（防災キャンプ）
- 積極的な情報発信
- 地域行事等への参加
- 地域で学び、交流する学習
- 幼保中高との連携

授業の質の向上

- 柔軟なカリキュラムマネジメント
- 個に応じた指導の推進
- ICTを活用した授業実践（思考力の向上）
- OJTの推進（教員の個に応じたOJTの推進）

校内研究・研修の充実

研究・研修による授業力の向上

組織的な人材育成

情報共有と組織的対応

具体的重点目標

◎かしこい子
(学びを活かす力)

目指す児童の姿

- 前向きに学習に取り組む。
- 課題を探究し、解決する。
- 自分の考えをもち、表現する。
- 多面的・協働的・創造的に考え主体的に行動する。
- 持続可能な社会の担い手を育てる市民教育（SDGsへの理解）
- 基礎的な知識・技能の定着（読書の充実、言語活動の充実）
- ICTを日常的に活用した学習
- 探究的な学びの過程の日常化

やさしい子
(共感する力)

目指す児童の姿

- 自他ともに大切にする。
- 思いやりのある言動をする。
- 自分のすべき事を理解する。
- 進んで挨拶をする。
- 道徳科の推進
- 挨拶推進の取組の継続
- 異学年交流の実施
- 自己肯定感・自己有用感の向上
- 人権感覚・意識の醸成
- WEB QUの活用

たくましい子
(やり抜く力)

目指す児童の姿

- 進んで運動に取り組む。
- 好き嫌いなくよく食べる。
- 最後までやり抜く。
- 家庭学習に継続的に取り組む。
- 鉄棒、ペースランニング、縄跳び週間の充実
- 食育の推進
- 変化に対応できる力の醸成
- キャリアパスポートの作成・活用（学びの振り返り、メタ認知）

目指すべき教師の姿

- ① 児童一人ひとりの心の変化を見取り、関わり、児童との信頼関係を作り上げる。
- ② 校内研究・研修を通して、児童に実りのある授業を提案し、高い授業力を身に付ける。
- ③ 保護者と連絡を密にとり、丁寧な対応を心がけ、保護者との親和的な信頼関係を築く。
- ④ 危機意識を高くし、事故を未然に防ぐとともに、迅速に対応する。
- ⑤ 保護者・地域とのつながりを大切にし、期待や要望に応える教育活動を実践する。